

式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。小学校での感動の卒業式を終え、本日それぞれに新しい希望に胸ふくらませて、砧中学の校門をくぐつたことと 思います。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。来賓の皆様、本日はありがとうございます。

さて、いよいよ砧中学校での生活が始まります。私が今日、皆さんに伝えたいのは、努力することを惜しまない人になつてほしいということです。成長するスピードは人それですが、努力する時間は誰でもつくることができます。皆さんのが重ねる努力は、一人一人の中に積み重なり、宝物になつていきます。明日からは勉強でも、クラスでも、部活動でも努力を惜しまないで、自分らしく、ゆっくりと確実に成長してください。これらの皆さんの活躍がとても楽しみです。

次に、心がおおらかな人になつてほしいと思います。ACジャパンのテレビコマーシャル「決めつけ刑事」を見たことがありますか。自分の考え方を押しつけ、「自分は正しい」という身勝手な人です。皆さんには、相手の立場や気持ちを考え、置かれた状況や価値観のちがいなどを想像して、寛容で思いやりのある人間関係をつくつてほしい

と思います。自分とちがうとか普通じやないとかいって責めたり、決めつけたり、仲間はざれにしたりするような、自分中心にしか考えない身勝手な人には絶対にならないでください。みんなで考え、個性を尊重して協働するのが、砧中学校です。

それでは、新入生の皆さん、新しい友や先輩、先生との出会いの中で、今よりもっともっと砧中学校を好きになつてください。三年間、将来の夢やなりたい自分に向かって努力を重ね、たくさんの成功と、時には壁にぶつかる経験を通して、大きく成長されることを期待し、式辞といたします。

令和七年四月八日

砧の学び舎 世田谷区立砧中学校長 加藤敏久